

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 本号の特集は「小児救急疾患の画像診断」を取り上げました。小児は、決して体の小さな大人ではなく、小児放射線診断は疾患概念の異なる診断学です。さらに放射線を用いた検査では、被ばくによるがん発生という将来における危惧を常に考慮したうえでの慎重な適応が求められます。本特集で下川尚子先生が執筆されている「小児の頭部外傷」では、小児に対して安易に CT 検査が選択されることに対して、諸外国で実施されている小児頭部外傷における CT の適応基準について詳細に紹介されています。さらに 2020 年度診療報酬改定では、6 歳未満の頭部外傷に対して頭部 CT の依頼根拠を明記する必要があるとされましたが、これまで日本医学放射線学会と厚生労働省との間では、小児に対する CT 検査の適応に対して長い時間を掛けて議論してまいりました。小児の放射線医療に携わる医療従事者は、ぜひ本論文を読んでいただき、診療報酬改定の背景にある考え方をご理解いただきたいと思います。小児救急医療には、瞬時に活用できる多くの知識と経験が必要であり、本特集に掲載されているすべての論文では、救急現場で役に立つ診断のほか、IVR を含めた治療まで詳細に解説されています。読者の皆さまも、ぜひ日常の診療に生かしていただきたいと思います。▶ 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、4 月 25 日から再び東京、大阪、兵庫、京都の 4 都府県を対象にした緊急事態宣言が発動されました。特に大阪ならびに東京では、英国型の新型コロナウイルス変異株 N501Y の蔓延が指摘されており、これらの変異株は従来型よりも感染力が強く、さらに重症化しやすいとされています。これは、日本におけるこれまでの累計死者数 10,025 人のうち、今年になってからの死者数がそのうち 6,500 人との報告からもわかるように、明らかに変異株は強毒化していることが示唆されます。今後は、ワクチン接種のほか、これまで以上に感染対策の励行が求められ、国民一人ひとりが十分にその感染症について理解する必要があると思います。

今井 裕

「臨床放射線」第 66 巻 第 5 号

2021 年 5 月 10 日発行（毎月 10 日発行）

定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 43,670 円（本体 39,700 円＋税 10%）

[年間 13 冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。